

EDUPEDIA 防災教育実践 50 選

『防災教育実践 50 選』は東日本大震災から 2 年経った 2013 年 3 月に公開しました。
 「地震で多くの児童が亡くなった学校があった一方で、日頃から防災教育を行い津波がきたにもかかわらず児童全員が助かった学校もあった。防災に関する教育実践や震災の教訓を集め、教育現場に届けることで、次の災害が起こったときの被害を最小限に食い止めたい。」

そんな被災地出身の EDUPEDIA メンバーの思いから実現した特集です。



○記事 URL: 防災教育実践 50 選 (<https://edupedia.jp/articles/keyword/53233f7d059b682d585b4cd0>)

○参考記事: 「防災教育実践 50 選」をもっと活用する 4 つのポイント

○防災教育 50 選は大きく分けて次の方々の協力で構成されています。

協力者・協力団体名	記載内容	一例
釜石市教育委員会 × 27	小学校・中学校段階での具体的な学習指導案と教材が掲載されています。	【釜石市津波防災教育】(1・2 年生) I - C 地震・津波を知る - 避難の必要性を知る。
石川孝茂先生 (日本女子大学) × 15	「地しん防災ブック」を使った 16 時間の学習指導案です。まとめ手引きやワークシートなども HP からダウンロードできます。	・防災教育への動機付け ・緊急地震速報についての学習 ・家族会議と災害伝言ダイヤル「171」についての学習
佐藤謙二先生 (東日本大震災発生時、 中学校教諭) × 9	被災された経験からの資料です。教職員が事前にどのような備えをしておくべきか、災害時の課題にどのように対応していくかを学ぶ教材として参考になります。	・東日本大震災の時、避難所があればよかった 20 の物品 ・被災した生徒と被災しない生徒の温度差への対応 ・震災を通じた生徒の成長
震災・学校支援チーム EARTH × 3	阪神・淡路大震災の教訓をもとにしたハンドブックの紹介です。教員研修等の参考資料として扱うのが良いでしょう。	・マイイエローページ(震災・学校支援チーム EARTH ハンドブック)
八巻寛治先生 (小学校教諭ほか) × 1	心のケアに関する内容です。	・震災後の心を支えるエクササイズ
濱口圭子先生 (東久留米市立第二小学校) × 1	社会科の一環として防災教育を取り上げています。指導案や参考 URL 等も掲載されています。	・自然災害の防止

防災教育を実践する現場では、「何を始めたらいいかわからない」「時間や予算が確保できない」「実施しても継続できない」といった課題をお持ちの方も多と思います。それらの課題を生み出している最大の要因が、防災教育の実践が「標準化」されていないということです。「標準化」とは、「いつ、どこで、だれが」行ってもできるようにするということです。EDUPEDIA がとりまとめた『防災教育実践 50 選』は防災教育の標準化につながる可能性を秘めたコンテンツとなっています。

また、『防災教育実践 50 選』をもっと活用する 4 つのポイント』では、子どもが小学校を卒業し、中学生になり、高校生になり、大学生・社会人となっていく「成長過程において、小学校のうちに何を学ぶ必要があるか」についても記されており、成長段階に合わせた実践内容もまとめられています。是非、参考にしてみてはいかがでしょうか。

現在は地震・津波等の災害についての実践が多数あります。今後はそれ以外の災害(雪災害・台風等)も掲載していき、様々な災害の経験をつなぎ、生かしていく手助けをしたいです。